

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 白石市立白石第一小学校
種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()
住所 〒989-0259
 宮城県白石市字半沢屋敷前2の2
E-mail : info@shiroishi1-e.shiroishi-c.ed.jp
Website : http://www.shiroishi1-e.shiroishi-c.ed.jp
児童生徒数：男子 222名 女子 178名 合計 400名
 児童・生徒の年齢 6歳～ 12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (地域教育)

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1 環境教育

- (1) 春と秋に学区内にある益岡公園へ行き、自然や動植物を観察したり高台の公園から市内を展望したり、身近な環境を知ると共にその変化に対する興味や関心を高めた。(1年生活科「春の白石城に行こう」,「あきいっぱい」・2年生活科「春のまちを歩こう」,親子活動「親子まちたんけん(秋)」・3年社会科「学校のまわり」)
- (2) 本校に設置されている太陽光発電システムの学習をきっかけに環境問題についての課題を見つけ、その課題についてグループで調べ発表会を学習に取り組んだ(4年社会科)。
- (3) 人と環境の関わりや環境を守る活動等について調べたり考えたりしたことをまとめた。さらに、これからの地球との関わり方について話し合い、環境問題に対して自分ができることをまとめ、環境を守ろうとする意欲を高めた。(6年理科「生き物のくらしと環境」「変わり続ける大地」「地球に生きる」)
- (4) 環境教育、福祉教育の一環として、アルミ缶回収に取り組んだ。児童のボランティア委員会とPTA環境専門委員が中心となり、年に2回実施した。児童の他、地域の商店等からもアルミ缶が集まった。収益金で車椅子を購入し、ボランティア委員会の児童が白石市内の福祉施設を訪問し贈呈した。この活動は、10年以上継続している。
- (5) 希望登録児童による「みどりの少年団」(40名)は、年2回の緑の羽募金やサツマイモの苗植え、収穫と収穫祭、校内緑化活動として花壇作りを行い、自然を大切に作る心を育てている。7月のみどりの少年団宮城県大会に18人が参加した。

2 国際理解教育・外国語活動

- (1) 担任の他、ALTや学校支援ボランティアの指導や補助により、1・2学年は、自国や他国への関心を高めることをねらいとした活動を、3・4学年は、自国や他国の文化・言語に親しむことをねらいとした活動を行った。
- (2) 5・6年は自国や他国の文化・言語に親しむことに加えて、外国語を通じたコミュニケーションの素地を育てることをねらいとして、年間35時間の外国語活動を行った。子どもたちは、ALTや学校支援ボランティアの協力を得ながら、ゲームや歌、会話等を通して英語によるコミュニケーションの楽しさを味わった。

3 伝統・歴史教育

- (1) 総合的な学習の時間に各学年が課題を設定し、調べ学習や発表等の学習活動を行った。
 - ① 3学年「わたしたちの学校をしょうかいしよう」
自分の学校の「よい所」や他の学校の人たちにも「自まん」できる「人・もの・場所」について調べたりまとめたり、発表したりした。「学校を好きになろう」という年度初めの校長から全校児童への呼びかけもあり、そのきっかけの一つとなった。

- ② 3学年「ふるさと白石じまん」
「白石三白（和紙・うーめん・葛粉）」の中から、うーめんを選び、その歴史等について調べた。うーめん工場見学でその製造工程を調べたり、うーめんが白石で作られるようになったわけ等の話を聞いたりしてきた。お土産にいただいたうーめんを家に持ち帰って食べ、さらに白石の特産品に愛着を持った。
- ③ 4学年「伝統文化体験学習」
白石市の能楽堂施設「碧水園」の見学と共に、茶道と日本舞踊を体験した。日本の伝統文化に触れただけでなく実際に体験したことで、伝統文化への理解を深め、忘れられない経験となった。
- ④ 5学年「白石の伝統文化を調べよう」
「白石三白（和紙・うーめん・葛粉）」やこけしなどの白石に伝わる伝統工芸や文化について、グループ毎に課題を設定し、工場見学や体験を通して課題解決に取り組んだ。調べたことをまとめ、授業参観の時に保護者に向けて発表を行った。
- ⑤ 6学年「白石の歴史を学ぼう」
7月の修学旅行に向けて会津若松の歴史についての調べ学習、その前段として白石の歴史を学習し、郷土の歴史を知ると共に、日本の歴史や会津藩との関わりを学んだ。
- ⑥ 子ども会育成会活動「ウォークラリー」
約70名の子どもたちが市内の史跡を異年齢のグループで探検して歩いた。各場所では地域の方や市の教育委員会の方の話を聞いたり、昼食の芋煮の材料の買い物をしたり、クイズに答えたり、異年齢での活動体験や地域を知る機会となった。今年度で12年目の活動となる。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（)